

OPTIMIST WORLD CHAMPIONSHIP 2016

Vilamoura,
PORTUGAL
June 25 – July 4

Equipment
Inspection
Photo
Report

2 / 2

JPN 3288 Ryunosuke SUGASAWA

JPN 3320 Kohjiroh NAIKI

JPN 3115 Lisa NUKUI

JPN 3344 Kaiyo MAEDA

JPN 3174 Rikuta HATTORI

Team leader Yusuke SUGASAWA

Coach Junichiro SHIRAISHI

Country Representative Yuta HATTORI

“ゴールド”でフィニッシュ ホーンの一声、こぼれる笑顔。後ろの 2016年 世界チャンピオン SUI 1749 Max Wallenberg は まだレース中だ。

ポルトガル 記

ふと目が覚める。
朝7時、外はこの景色。
ポルトガルにて

早や 9日目、やっと生活にも慣れ 心も落ち着いてきた。
朝の遅い静かな街に カモメやツバメの鳴き声が騒がしい。
日本で人生しているという現実と同時に、地球上に生きている
リアリティも欲しい。国際クラス OP がいかに世界に溶け込んで
いるのかも知りたい。2つを求めて ここまでやって来た。

6月/30日 (木)

2016 AGM 10:00-17:00

Optimist World
Championships
DAY 5

私は2日間 陸上だったが、その間
予選は終了し、Gold 龍佑、Silver
理紗、Bronze 陸太、Emerald 航路
朗、海陽 と 枝道は分かれた。
昨日は決勝2レースが行われ、F2
では 龍佑は再び5位、陸太は4位
と進撃している。私は今日 海上だ。

09:03

写真では空い
ているが、
シャトルバス
の下車と重な
ると長蛇の列
となって
しばしお預け
の朝食場。





朝のルーティンは 情報収集。
Mail box と 公式掲示板 をチェック。

今日も AM 風無しでD旗は揚がらず、ショップで時間をつぶす。商品の数は少ない。
インドの一人ぼっち少年がいた。彼は昨年アジアでは↓OP刈り をしていた。



(私) いつも
1人だね。
(彼) そうです。
寂しくない？
寂しいです。
素直に答えてた。

Chitresh 選手



もう、背の高い母を
追い越してしまった 海陽。

Race №	Class	Fleet	(Country, Sail No./Name)	Sail No./Name	Redress(Re) Reopening(R)	Room	time
5	Optimist	B	USA 112	SIN 117	Protest	July 2	1740
	Optimist	C	ITA8831	Jury	Redress	July 2	1800
7	Optimist	A	USA 112	RC	Redress	July 1	1845
7	Optimist	A	SLO 711	RC	Redress	July 1	1845
7	Optimist	A	MLT 201	RC	Redress	July 1	1845
8	Optimist	B	RUS 43	NZL 4646	Protest	July 2	1915
7	Optimist	A	GRE 8089	RC	Redress	July 2	1845
7	Optimist	A	GRE 2614	RC	Redress	July 1	1845
7	Optimist	A	GRE 4734	RC	Redress	July 1	1845
7	Optimist	B	BRA 3857BRA3508	RC	Redress	July 2	1950

昨日、RCに対して7選手から救済要求があった。多いと
感じるの 選手達に理由か？ それとも運営に問題ありか？

海上計測違反は

SP (標準罰則)

となり このように

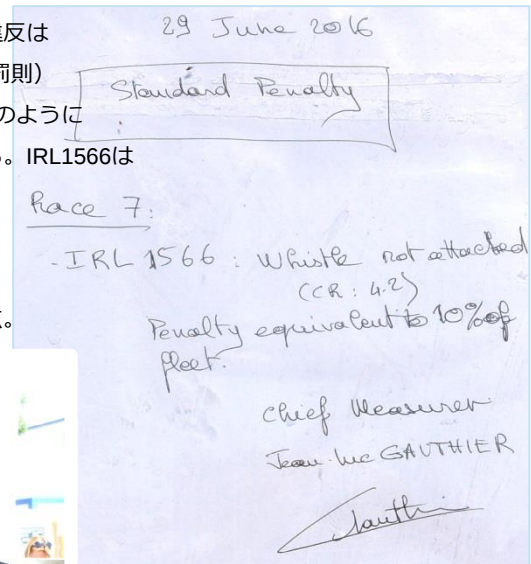
掲示される。IRL1566は

笛がライ

ジャクに

ついてなく

10%の加点。



Date	June 26, 2016	Time	18:30
From	RACE COMMITTEE	To	ECU: ECU 212, ECU 444, ECU 1001, ECU 1109, ECU 1401
As per Sailing Instruction 20.1 (e) Race Committee has a (1) point in the last race of June 26 to the following comp			
Team 全員に +1点 追加。			



ヒマ潰しの写真撮りも
ベルギーteam と一緒。

D旗が揚がった。
計測艇は
これから 出艇です。

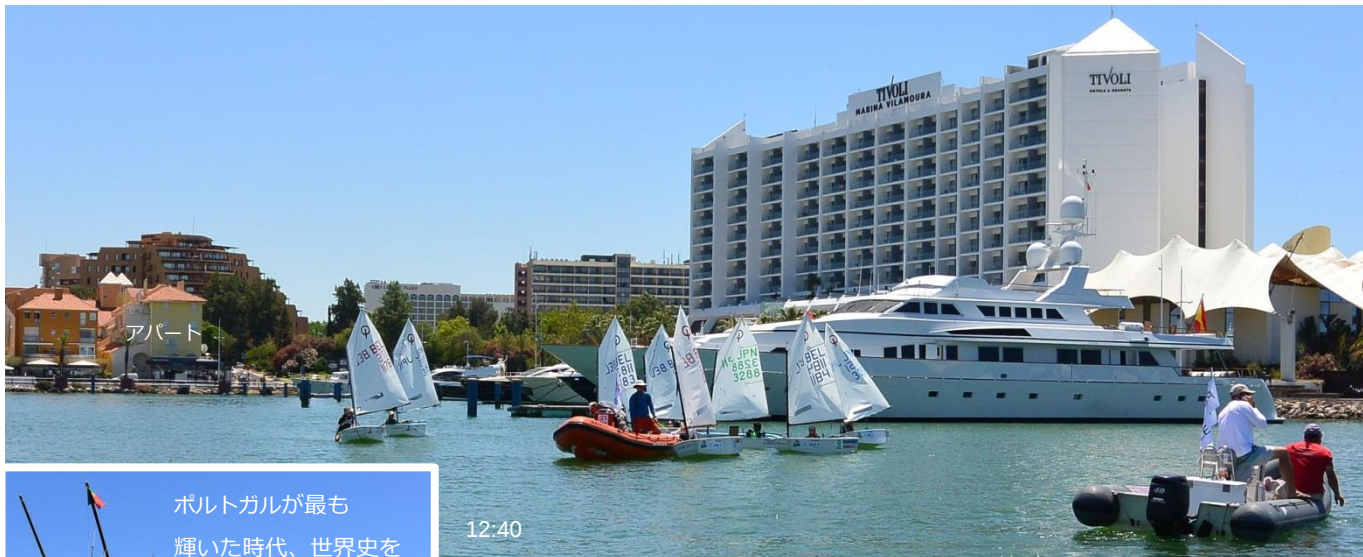


艇の下には
けっこう大きな
魚がいた。



12:38

今日も2時間
風待ちをして
出港。ここでは
地形的に風が
無いが 沖では
15knt 程吹いて
いたのでもっと
早く出てもいい
と感じた。今日
は IODA総会 が
開かれ役員選挙
や2018年開催地
が決定される。



アパート

ポルトガルが最も
輝いた時代、世界史を

12:40



塗り替えた↑カラベラ船
はこの国の誇り。

Final series Race 3 Yellow



13:18



Max

龍佑

Max

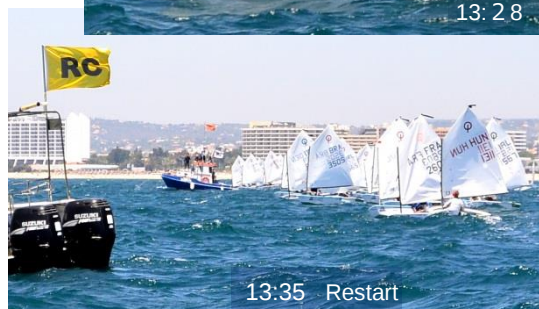
龍佑

Race 3 Blue



↑ゼネリコで戻る艇

13:28



13:35 Restart



理紗



バン
ピング





向かって 右の海面を選んだ選手が多い中、龍佑のみ 左海面からアプローチ。



JPN 3288



さあ どっちが速いか？

NOR 3919 SUI 1749



後続艇の前でタック、勝運は JPN 3288にあった。

14:02:10 フィニッシュまでもうすぐ。



おめでとう！
菅澤龍佑

NOR 3919

見事トップフィニッシュを果たす。



F3 をフィニッシュした艇はスタートエリアに戻る。

Gold Fleet	Race 3	F1	F2	F3	F4	F5	Overall
JPN 3288		26	5	1	31	37	18
SUI 1749		27	14	2	1	1	1
URU 347		8	25	3	16	26	13
NOR 3919		1	33	4	6	65BFD	2
GER 1010		31	41	5	3	15	16
SUI 1727		48	56	6	18	34	40
GER 1011		47	32	7	11	3	7
USA 115		16	23	8	2	25	10



MEX 855 Overall G-61

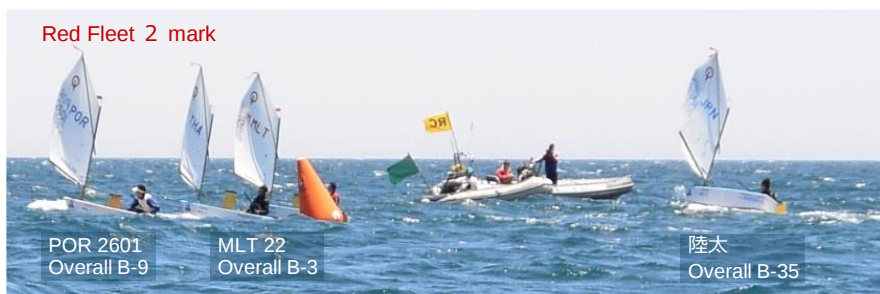
SLO 711 Overall G-54



CHI 460
Overall S-43

Blue Fleet
Finish

理紗
Overall
S-29



Red Fleet 2 mark

POR 2601
Overall B-9

MLT 22
Overall B-3

陸太
Overall B-35



Blue Fleet
Finish

Green Fleet

- CRO1158 Overall E-6
- JPN 3344 Overall E-35
- HKG 207 Overall E-14
- IRL 1569 Overall E-10
- GBR 6411 Overall E-11
- CRO1126 Overall E-18



- JPN 3320 Overall E-15
- CZE 784 Overall E-30
- AHO 66 Overall E-17



Red Fleet
Finish

14:33

25位



Red Fleet
Finish



- ECU1109 Overall R53
- MEX 768 Overall R-30
- ISV 312 Overall R-63
- BEL 1184 Overall R-28
- ECU 444 Overall R-6



Final series Race 4 Yellow 1 マーク回航後 2 マークへ



Green fleet
Finish



今年強かったのはスイスとUSA。TeamとしてはUSAがピカイチだった。特に 8-9-10位はスゴイ。Gold 4名の強豪Teamは他に独、シンガポール、ギリシャ、スペイン、ハンガリー。

Rank	HelmName	Nat	Nat	SailNo	Gender	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	F1	F2	F3	F4	F5	Total	Nett	NC	TRWC
1	MAX WALLENBERG	+	SUI	1749	M	1	1	4	1	9	3	27	14	2	1	1	64	38	6	Final Flight D
40	JOSHUA RICHNER	+	SUI	1727	M	12	29	13	19	23	11	48	56	6	18	34	269	213	155 Points	
45	ACHILLE-PABLO CASCO	+	SUI	1775	M	7	32	4	6	15	10	24	63	52	53	20	286	223		
5	ARNAUD GRANGE	+	SUI	1776	M	esBFD	8	7	24	16	40	6	2	25	15	25	233	168		
28	MAXIME THOMMEN	+	SUI	1680	M	30	21	18	4	41	esBFD	26	22	41	27	23	318	253		
8	JUSTIN CALLAHAN	USA	USA	112	M	11	6	15	5	2	2	45	1	13	12	32	145	100		
9	ROGERS ZANE	USA	USA	113	M	3	11	15	2	9	11	21	37	18	14	4	145	108	1	1
10	THOMAS HALL	USA	USA	115	M	9	4	17	18	9	6	16	23	8	2	25	137	112	64 Points	
37	SAMUEL BRUCE	USA	USA	114	M	10	3	6	18	18	30	56	55	30	8	30	264	208		
2	ISABELLA CASARETTO	USA	USA	122	F	43	36	24	37	44	33	10	25	4	3	5	264	220		

ジュリーが42条違反艇に対して笛を吹く。

Beep !

僕のこと？

GRE 4794
2 回転しなさい。

GRE 4794
Overall G-19

龍佑

① 14:49

この大接戦が World を象徴している。腕は互角でも 序列はつく。

② 15:00:21

③ 15:00:52

龍佑

Yellow フィニッシュに旗を展開

中～下位の選手達を見ていると、各国ともプライドを持って善戦しているが、結果に表れず苦しんでいる。スタートのタイムリミットは2分だが DNFはいないし これだけの弱風シリーズでも DNSが2回しか記録されていない事に驚く。悪い順位の選手でも日本の選考会の上半分以上の実力を持つ選手、つまりうかうかしていると全部持って行かれてしまうのだ。競争が厳しいほど真価が問われる事になる。

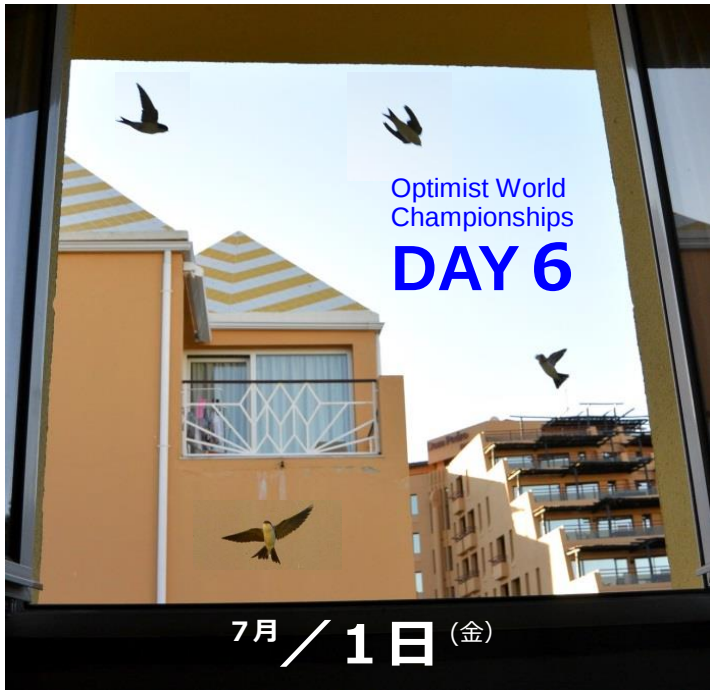
龍佑
2 連続
上位は
ならず。

POR 2625 Overall G-21

Red Fleet

陸太





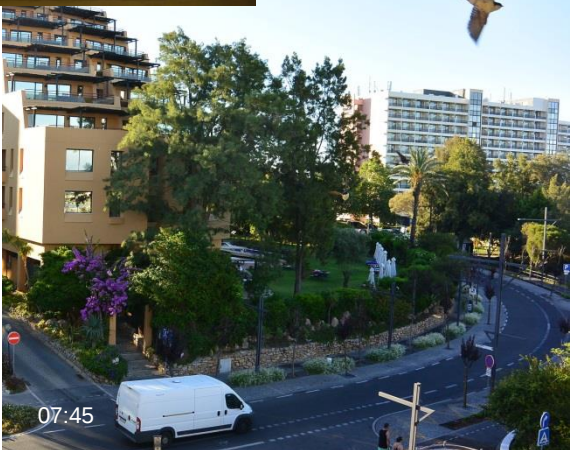
私の部屋の軒先には 燕の巣がある。
過剰とも思う愛情で 雛を育てる親鳥達、
どこか OP の世界に似ている。それは
親鳥達が子鳥の時にもそうしてくれた
親への 感謝を含めた恩返しなのだろう。
私は夢中になって 目には止まらぬ速さ
で飛ぶ鳥にシャッターを切って止めた。



この地は西ヨーロッパの
最南端、アフリカへ渡る
旅路の拠点なのか 無数の
燕が 空を乱舞している。



ここにも子ども達
に餌を運ぶ大人が
いた。英・仏の
コーチ達だ。ここ
は予備のスロープ
で使われていない
が、給食テントに
近いのでランチ運
びに Very good 。



Rank	HelmName	Nat	Nat	SailNo	Gender	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	F1	F2	F3	F4	F5	Total	Nett	NC	TRWC
48	AUDRIC ROLAIN	FRA	FRA	2633	M	19	26	14	12	17	12	36	51	28	23	54	292	238		
8	TANGI LEGOFF	FRA	FRA	2595	M	21	50	11	16	46	21	7	11	6	28	30	247	197	16	Qualification
13	TRISTAN THOMAS	FRA	FRA	2603	M	26	28	14	4	49	13	35	5	27	11	esBFD	395	339	276	Flight B
15	ALEXANDRE AUGER	FRA	FRA	2618	M	29	22	16	23	15	14	55	51	29	7	11	272	217		
21	TOM MARSAN	FRA	FRA	2589	M	13	28	10	13	19	27	33	47	28	esBFD	21	304	239		
50	RHYS LEWIS	GBR	GBR	6343	M	24	25	33	47	18	30	46	29	39	37	52	334	269		
22	ACHIE LECKIE	GBR	GBR	6417	M	38	42	36	46	39	56	21	27	33	30	15 ESP20	384	328	34	Qualification
25	JULIA MELLERS	GBR	GBR	6350	F	32	26	42	35	33	esBFD	esBFD	23	7	25	47	400	335	599	Flight c
54	JAMIE COOK	GBR	GBR	6354	M	60	51	37	49	28	25	39	46	28	52	41	456	396		
11	KAI WOLGRAM	GBR	GBR	6411	M	42	33	46	49	38	44	35	16	16	17	no race	345	296		

フランス： Gold 1, Silver 4 のために平均点は高く、国別順位は 16位 日本 (27位) の上に行く実力。
英国：昨年成績は Gold 1, Silver 3, Bronze 1 だったが 今年は 上の表のようにあまりいい所がなくて 残念。
個人戦の終了 今日も弱風で 全12レース予定が Green以外は 1レースできて11レース、Greenは 10レースで個戦を終えた。昨年までは最終日で終了だったが、今年はTeam Race が明日から 2日間あるので、歓びを早く感受するために、今夜 略式の表彰・祝賀会を行う事となった。



チームレース クリニック
いよいよ明日から T Rが始まる。このタイミングで 個人戦の事は 全部忘れて T R に集中する。毎年おなじみの クリス アトキンスの講義、 解りやすく表現するが 英語 圏でない選手には やや難解。

- TOPICS**
1. STRATEGY TO WIN
 2. HOW TO SLOW OPPONENTS
 3. RULE BOOK IN 5 MINUTES
 4. NO RISK PROTESTING
 5. STARTING & LAST BOAT
 6. A WINNING TEAM

WIFI: OPTWORLD52016
PASS: OWC*2016
TEAM RACING: 18:30 TONITE

この船は 世界史
を塗り替えた
証（あかし）を
忠実に再現した
いわば
世界遺産。



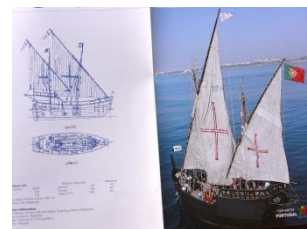
ナビゲーションルーム
矢印は船尾まで伸びる巨大な ティラー

私がポルトガルを
好きな理由は
ヨーロッパ文化を
日本に伝えてくれ
た事。こんな船で
世界に出たとは
なんとと言う勇氣、
どれ程の精神力

が必要な事だろう。当時の織田信長が感服
した、同じ思いで 賞賛するばかりだ。ポル



ちょうど ディエゴ夫妻も
見学していたので 合流写真。



トガル人も又、
自分達が日本
にそれを伝え
た事を誇りに
思っている。



天然繊維の
ロープ類に触れた。

世界チャンピオン を 讃える ミニ表彰式



2位とは
28点もの
差を付けて
MAXが 圧勝!!

クラウディオ
(ARG) は
IODA計測員
に所属した。



SUI は2014年
アルゼンチン
でも優勝者
を出している。
この時31位
のSUI 1727
Johua 選手は
2015年 33位
今年は40位
と 3年連続
Gold で戦う。

世界一幸せな マックスのコーチ



いいぞ MAX!



女子優勝は マルタ島
から来た スケルティス





交流とはExchangeであり 交換も含まれる。
World も終盤が迫ると、物々交換 が活性する。

Rank	HelmName	Nat	Nat	SailNo	Gender	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	F1	F2	F3	F4	F5	Total	Nett	NC	TRWC
29	DANIEL CANTE		SLO	211	M	3	4	6	9	1	esUFD	43	8	47	41	13	240	175		
54	LUKA ZABUKOVEC		SLO	711	M	31	30	44	34	48	esUFD	36	7	13	18	15	341	276	14	Final
11	MARTIN FRAS		SLO	187	M	14	19	15	39	15	23	21	15	52	35	8	256	204	248	Flight c
26	JANEZ ZABUKOVEC		SLO	811	M	22	16	26	52	7	14	39	12	esDSQ	31	29	313	248		
59	PETER MILIVOJEVIC		SLO	911	M	18	48	25	52	16	34	esBFD	37	55	49	54	453	388		

いい成績です。



スロバキア とは昔のチェコスロバキアの西半分の国。
昨年は ロト選手 が優勝した。日本も見習いたい。

表彰式後にBBQ と言うのでテントに行くとワイルドな お供物。

この一匹が 数百人にシェアされて 美味しかった。



ポーランド

インド

7月 / 2日 (土)

Optimist Team Racing
World Championships

DAY 7

出艇／帰着申告の 混雑を減らすため T リーダーがサインする。



このWorldに残された最後の挑戦
Team Race に勝負を賭ける。

いつもは チームレースも海上計測を行うが 今回は無い。
理由は 実行委員会の予算不足。計測艇もアンパイア艇と
して使用しなければならない 苦しい台所事情があった。
残念だがチャンスだ、また ヴィラモウラ歩きを して見よう。



COACH BOAT ALLOCATION LIST

Club no	Type	Countri es	Cour se	MARINA PLACE
6	ondastar 6	LTU	B	Q - 63
		AUT	B	
2	ondastar 2	MAS	A	Q - 67
		KOR	A	
8	ondastar 8	URU	B	Q - 61
		ARG	B	
7	ondastar 7	AUS	A	Q - 62
		CHN	A	
5	ondastar 5	THA	A	Q - 64
		IRL	A	
11	CNI VSR	SIN	B	Q - 52
		CRO	B	
12	VSR RIC 1	NOR	B	Q - 53
		JPN	B	
13	VSR RIC 2	SWE	B	Q - 54
		PER	B	
14	AVA 5.8	FIN	A	Q - 55
		NED	A	
15	Galhoz	USA	A	Q - 56
		ISV	A	
16	Resul	CHI	A	Q - 57
		DEN	A	
1	ondastar 1	MEX	B	Q - 68
		ECU	B	
4	ondastar 4	TUR	B	Q - 65
		BER	B	
9	ondastar 9	RUS	A	Q - 60
		GRE	A	
3	ondastar 3	GBR	B	Q - 66
		CAN	B	
18	Private POR GREY 50 HP Suzuki	POR	B	Q - 51
		BRA	B	

レースエリアが A B に別れるため
コーチ艇の乗り合わせが再配分される。

19	Private HUN 5.2 BLUE yam 40	HUN	B	Q - 50
		LAT	B	
20	Private BEL red 50HP	BEL	A	Q - 49
		SRB	A	
21	Private CZE grey 40HP	CZE	A	Q - 48
		POL	A	
22	Private ESP blue VSR 50HP	ESP	A	Q - 47
		ITA	A	
24	Private 4.7 50hp blue	FRA	A	Q - 45
		ALG	A	
25	Private GER blue Yam 50hp	GER	B	Q - 44
		OMA	B	
27	Private white Yam 25 HP/Private red Mercury 50	SLO	B	Q - 42
		SUI	B	
28	Private blue Yamaha 50	HKG	A	Q - 41
		NZL	A	

10:48 今日の Team Race のD 旗には下にクラス旗はつかずシンプル。

トロリーの移動は 日本では 親が行う事が多いが こちらでは手を出さない。

ボランティア達は 選手の残したトロリーを各国の所定の場所に戻す。

我々は 彼らに ただ感謝あるのみ。



このお兄さん
戻す場所に迷った
らしくて、私に
「日本チームの
場所は どこです
か?」と聞いて
きたので 教えて
溝を超えるのを
手伝ってあげた。



OPの 次の艇 420の 無料体験
試乗コーナー。ショップテントの
多くは利用する業者がなく、また
オリンピックセールなども計測期
間のみ滞在、後はボランティアが
店員になって営業していた。



南ア連邦から来た ファルコン一家
選手 1 名ではチームは組めない。

父は造船業で忙しく
おじいちゃんが
連れてきた



まだ チームレースが行われているので
試乗者は少なかった。車輪を 1 個 外して
スロープで艇置きする方法、
いつか私もやってみよう。

Rank	HelmName	Nat	Nat	SailNo	Gender	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	F1	F2	F3	F4	F5	Total	Nett
61	ALEX FALCON		RSA	1432	M	55BFD	61	62	60	59	41	58	60	50	47	no race	563	498

おじいちゃんとは 最初から 軽く話してはいたが、今日は時間があったので長話をして
私がミラー級世界選手権（南ア）に出場したレポートをパソコン画面で見せると 孫を呼び
再び見せる。「この大会、僕も出てたよ。」と言いながら 自分のシーンを説明する ので



私おどろいた。世界は、特にセーリングの
世間は狭いものだ。成績は27位、負けた。
しかし今回は最下位に近い。 思えば
World は コーチングの世界だ。経験を積
んだ頃にはもうOP卒業/体重オーバー。
時間勝負を いかによりしっかりと導くかだ。



国際ミラー級 世界選手権 2015 の写真
開催地は ケープタウン 近郊



← Nuno Gomes

アジアと言っても タイ、香港、オマーンは白人系。
アフリカでは アルジェリア、アンゴラは 白人社会。
又は アラブ系の 出席者が多かった。

IODA 副会長 3名のうち、最も
広大な管轄は アジア オセアニア
アフリカで 地球の半分を占める。
新任副会長は ヌーノ ゴメス氏。
アンゴラで工学部教授の肩書を持
つ。挨拶では 今ビジョンは
特になく、初めはお互いをよく
知る事と、情報共有に努めよう
との提案で、各国のOP事情の
紹介を求め、代表は一人づつ
述べたが、各国では その国の
セーリング連盟との連結が深く、
服部代表の言う「保護者が協会
の面倒を見ている。」との国
は少なかった。OPは もともと
保護者が集まって IODA を
創立し、その精神が 今でも残っ
てはいるが、将来は希薄と
なるかも知れないと感じた。



服部さん



建物や 風景を見ると その国の人の
ものの考えや 美意識が 解る。



マリーナ通りの4階建て軒裏



いつ
巣立つ
のかな。



ぶらり 散歩道 ヴィラモウラ を見てみよう。 2/2

私の好きな画家 ゴッホの
糸杉の絵 をほうふつさせる
本物を一度 見たかった。
近道を覚え
毎日この
小路を
通り抜けた。



← マリーナ通りのバーの裏側、店名は15世紀 風



燕の巣

↑
私の窓



ハーバーには
OPが並ぶ
↓



今日も ボクたちは
お変わりありません。

↑ マリーナ通り
から 1 本奥に入る
と 静かな 市街地
が広がる。

OPTIMAX の店名
が気になり →
見るとメガネ屋
でした。“光学的
最高” との意味？
すると、OP の
OPTIMAX の由来は
“最高の OP” かな？



ウォータフロント
マリーナ通り



街を 闊歩する
一羽の 大かもめ。

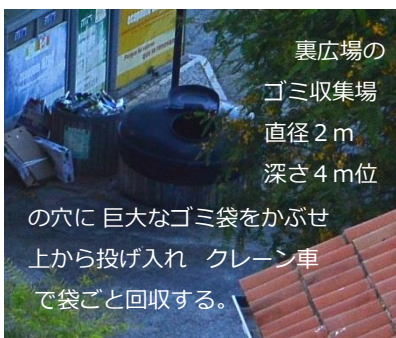


気が強く 近づいて
も 飛び立たない。



ここは 自分たちの
街だ と思っている。

私も そう 思いたい が。



裏広場の
ゴミ収集場
直径 2 m
深さ 4 m 位

の穴に 巨大なゴミ袋をかぶせ
上から 投げ入れ クレーン車
で袋ごと回収する。



あっ 皆 帰って来たみたいだ。

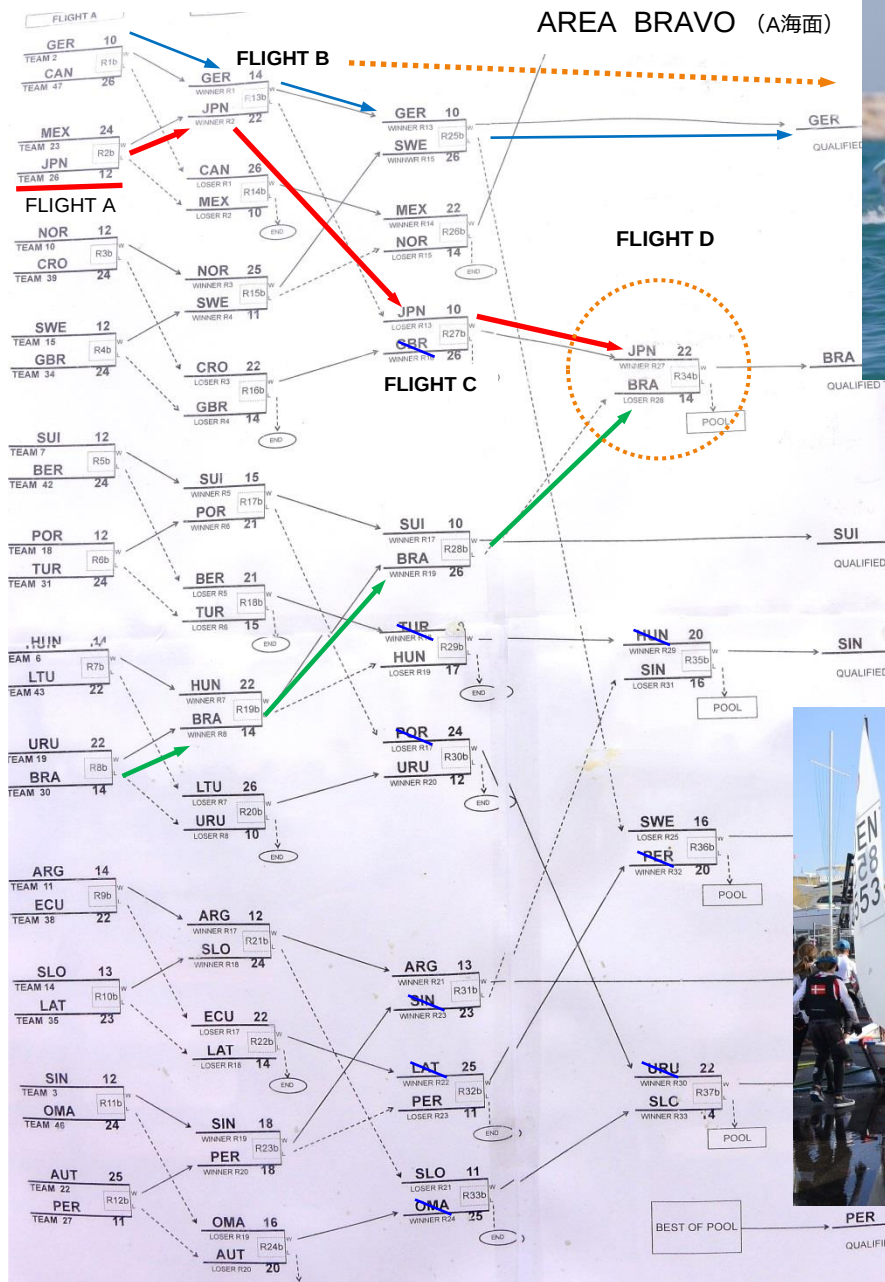


※ Team Race 閉会式 の写真の一部は MATIAS CAPIZZANO氏の撮影です。Thanks CAPIZZANO !

THE OPTIMIST TEAM RACING WORLD CHAMPIONSHIP (TRWC 予選)

DAY 7

AREA BRAVO (A海面)



Flight A : 緒戦で日本はメキシコに勝利し、Flight B : に進んだが手ごわいドイツに敗れる。チームレースの規則は2回 負けると もう次には進めなくて 敗退する事になる。Flight C : はイギリスと闘う。昨年はこの3回戦で敗退して悔しい思いをしたが、今年は違う、勝った。BRAVO !! Flight D : これが予選の 最終戦、勝てば決勝進出だ。しかし この日も風が弱くて Flight D は明日に持ち越された。



明日の 対 ブラジル戦 は 絶対に勝つぞ。

7月 / 3日 (日) TRWC FINAL (予選決勝) DAY 8 the Last Day

昨年 優勝した シンガポールは 借用艇ではなく
自艇を運ぶ 万全の態勢だ。



ブラジルとの熱い戦いは、今 3マークを
回航しようとして 形勢は ほぼ互角に見える。
手前の 旗の付いた ブイが フィニッシュのピ
ンエンド。2つのブイの間に 2チームの運命
が宿っている。両チーム 秘術をつくして必死
の攻防戦、軍配は どちらの国に上がるか？

残念ながら 負けてしまった。

1月の選考会で チームの 結成 から 半年間、
精一杯 頑張った日々は 彼等の誇りだ。



2016 OPTIMIST WORLD CHAMPIONSHIP, VILAMOURA, PORTUGAL. © MATIAS CAPIZZANO

2週間のポルトガルの海に 別れを告げる時が来た。コーチ艇シェアは ベルギーは A 海面なので
同じ B 海面のウルグアイと一緒にいる。彼らも日本と同じく、予選4回戦目で敗退した。

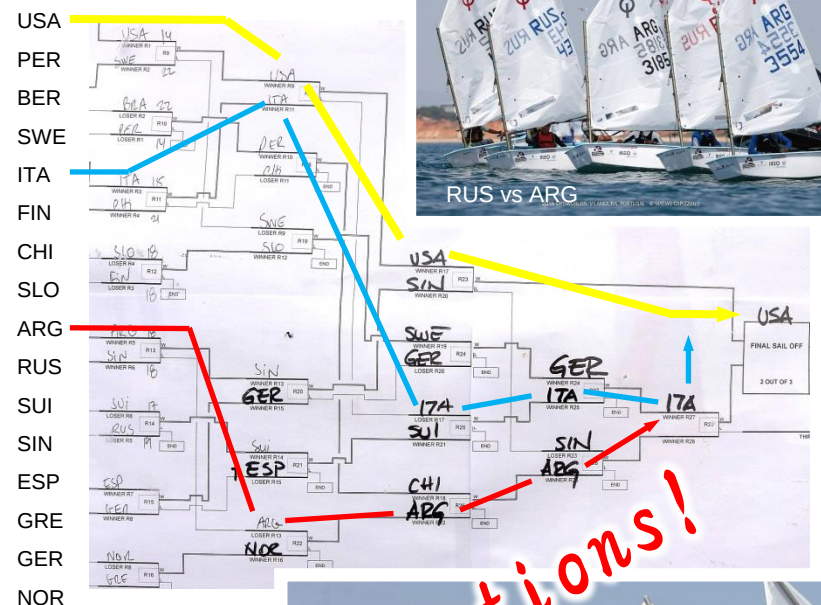


12:24

予選終了



チームの 目標も
フィニッシュ。



RUS vs ARG



ESP vs SUI

2016 OPTIMIST WORLD CHAMPIONSHIP, VILAMOURA, PORTUGAL. © MATIAS CAPIZZANO



決戦

またたく間に 強くなった
USA は team として
ベストに輝いた。
つづの
そろつ た
メンバー5名は、もう
一つの優勝カップである
Nations Cup (個人戦で
4名の合計がトップ) をも
もぎ取り Perfect Team
に成長した。聞けば 今日
あるのは 5年前から
OP World №1 を目指し
た強化に励んでいたから
だと言う。オメデトウ。

Congratulations
USA



2016 OPTIMIST WORLD CHAMPIONSHIP, VILAMOURA, PORTUGAL. PHOTO MATIAS CAPIZZANO

2016 OPTIMIST WORLD CHAMPIONSHIP, VILAMOURA, PORTUGAL. PHOTO MATIAS CAPIZZANO



Team Race 3 賞



Max
世界一
いい男



ボランティア
に拍手喝采。



すげえ。



任せて
下さい。

来年は
しっかり
頼んだよ。

2017年はタイで逢いましょう。



個人戦 3 位 MAS



彼等は
6月15日
から来ている
人もいます。ご苦労様。



ノルウェー



Rank	HelmName	Nat	Nat	SailNo	Gender	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	F1	F2	F3	F4	F5	Total	Nett	NC		
2	MATHIAS BERTHET		NOR	3919	M	5	7	2	2	5	1	1	33	4	6	esBFD	131	66			
14	MARKUS BERTHET		NOR	3819	M	10	17	1	11	6	18	3	21	38	28	10	163	125	10	Final	Flight c
4	TOBIAS BIRKELAND		NOR	3975	M	16	40	2	35	22	23	3	19	4	2	esBFD	231	166	188 Points		
40	SARAH THODESEN		NOR	3917	F	45	54	8	18	12	26	23	31	43	46	31	337	283			
17	JESPER MOBERG		NOR	3821	M	28	27	28	37	46	42	42	55	11	21	37	374	319			
4	MARCO GRADONI		ITA	8705	M	2	12	3	9	3	4	11	12	46	25	5	132	86			
11	ANDREA MILANO		ITA	8734	M	18	9	6	17	1	6	44	13	20	15	8	157	113	4	146 Points	3
1	DEMETRIO SPOSATO		ITA	8831	M	5	21	9	24	24	21	8	1	1	4	12	130	106			
2	ALESSANDRO CALDARI		ITA	8453	M	8	21	19	48	25	7	1	3	7	9	10	158	110			
3	LUISA PENSO		ITA	8665	F	12	20	17	25	12	23	2	7	14	12	2	146	121			



イタリア

私はリスボン→ファロ間の空路でイタリアteamと一緒にだった。コーチに昔の名コーチマルチェロ氏は健在か？尋ねると、“私もマルチェロだ。”という。私のマルチェロは2003年最後に和歌山の選考会で会った頃には70才を超えていたので気がかりだったが、今でもお元らしいので安心した。ITAも今年の活躍ぶりはスゴイ。チームレース3位、国別戦も4位。そしてなんとなんとSilverでワン・ツー・スリーと、全部のメダルを一国締めしてしまった。



Silver Fleet 3 賞



ドイツ

ドイツは Team Race 準々決勝まで進み 国別戦は準優勝、Gold 4名、うち20位以内入賞1人、という立派な成績を残した。

アルゼンチンは Team Race 準優勝！国別戦11位、Gold 3名、うち20位以内入賞2人、いつも遅い存在だ。



アルゼンチン

Rank	HelmName	Nat	Nat	SailNo	Gender	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	F1	F2	F3	F4	F5	Total	Nett	NC	TRWC
5	JUAN IGNACIO QUEIREL		ARG	3554	M	6	2	3	4	2	13	18	18	23	7	18	114	91		
6	LUCAS VIDELA		ARG	3185	M	1	14	4	3	3	1	12	34	29	17	12	130	96	11	2
38	DANTE CITTADINI		ARG	3493	M	18	16	18	19	13	8	41	43	14	26	35	251	208	189	
12	IVAN LUPPI		ARG	3463	M	51	41	54	38	39	23	17	58	8	9	23	361	303		
16	MALENA SCIARRA		ARG	3576	F	35	31	59	21	60	38	30	43	29	5	28	379	319		
7	ROKO MOHR		GER	1011	M	1	3	22	1	14	5	47	32	7	11	3	146	99		
16	VALENTIN MÜLLER		GER	1010	M	11	115	28	22	1	8	31	41	5	3	15	180	139	2	Final
24	KRISTIAN LENKMANN		GER	13280	M	25	2	23	36	11	5	39	7	11	5	esBFD	229	164	72 Points	Final
25	ADRIAN SURROCA		GER	13513	M	4	1	9	10	5	esBFD	4	3	17	48	esBFD	231	166		Flight E
9	LEONARDO HONOLD		GER	1015	M	9	18	15	24	esDNE	17	15	14	16	33	5	231	198		
19	IASONAS KEFALLONITIS		GRE	4794	M	15	17	20	14	3	4	50	40	10	21	1	195	145		
33	ARIADNI PARASKEVI SPANAKI		GRE	2084	F	13	22	5	28	42	10	52	10	12	4	esBFD	263	198	5	Final
47	GEORGIOS PAPADAKOS		GRE	2369	M	25	7	11	17	25	14	15	16	esUFD	59	44	298	233	151 Points	Final
52	ALEXANDROS PAPADIMITRIOU		GRE	2614	M	19	14	17	12	19	5	59	35	58	45	24	307	248		Flight B
23	CHRISTOS IOANNIS MOUZAKIS		GRE	2311	M	22	21	26	2	27	16	esBFD	41	8	13	esBFD	306	241		

Gold 4名のギリシャパワー！
20位以内1名、国別5位。



ギリシャ



ポルトガル

Bronzeで優勝！
地元の祝福を受ける。



Rank	HelmName	Nat	Nat	SailNo	Gender	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	F1	F2	F3	F4	F5	Total	Nett	NC	
21	GUILHERME CAVACO		POR	2625	M	2	9	7	43	8	10	13	20	33	27	28	200	157		
59	BEATRIZ GAGO		POR	2434	F	8	10	18	21	16	17	40	53	esDNF	33	esBFD	346	281	17	Qualification
22	FILIFE EGIPTO		POR	2505	M	20	35	22	4	13	25	27	48	40	45	9	288	240	295	Flight c
1	MANUEL RAMOS		POR	2634	M	23	39	42	26	36	39	13	10	9	13	8	258	216		
9	DIOGO SAMPAIO		POR	2601	M	49	42	32	37	30	18	33	28	18	2	45	334	285		

両国とも Gold 4 名 Silver 1 名でレベルは高く 国別順位も シングル。スペインは TR 決勝 3 回戦まで。

Rank	HelmName	Nat	Nat	SailNo	Gender	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6	F1	F2	F3	F4	F5	Total	Nett	NC	TRWC
30	SAMUEL BENEYTO LANCHO		ESP	2354	M	7	16	19	8	7	4	54	28	39	13	36	231	177		
44	ALBERTO MORALES HERNANDEZ		ESP	2508	M	3	6	21	16	8	29	28	54	34	39	38	276	222	7 173 Points	Final Flight c
46	ALBA TRIGO PINEIRO		ESP	2492	F	13	24	9	3	21	3	42	31	49	62	31	288	226		
53	MANUEL ALVAREZ DARDET		ESP	2166	M	6	5	10	13	35	30	53	38	40	37	41	308	255		
14	CONRAD KONITZER		ESP	2705	M	12	17	27	19	29	28	31	24	35	25	3	250	215		
35	ABEL LASZLOFY		HUN	1285	M	14	8	16	15	26	13	6	4	54	44	53	240	175		
42	ATTILA BANYAI		HUN	1327	M	31	30	44	34	48	48	36	7	13	18	15	253	199	9 184 Points	Qualification Flight D
51	LEVENTE LASZLOFY		HUN	1284	M	9	6	ssDSQ	9	4	35	25	58	22	40	39	312	247		
56	MATE JENEY		HUN	1312	M	5	10	5	31	12	17	46	30	55	57	ssBFD	333	268		
12	ARTHUR DE JONGHE		HUN	1311	M	35	32	20	3	53	32	38	10	12	21	7	263	210		

balance of the Opti world

OPTIMIST WORLD CHAMPIONSHIP 2016															Entry countrys and competitors																								
SUI NOR ITA GER SWE GRE MLT POR DEN AUT TUR SLO ESP HUN RUS FRA																																							
SLAT SRB CRO IRL POL FIN REL GBR NED LTU BUL CZE EST																																							
29																		Euro															138						
MAS SIN JAP HKG THA CHN KOR OMA IND																		Asia															39						
9																																							
2			AUS NZL																		Oceania															10		World とは 世界の隅々から 均等に 参加してくることが理想だが、 表は 現実と言うものだ。 アジア、アフリカ が減少傾向で 何かの 暗示 を含めている。	
USA MEX ISV BER IVB CAN LCA AHO																		North Am															29						
8																																							
ARG URU PER CHI BAR COL ECU																		South Am															32						
7																																							
3			ANG ALG RSA																		Africa															7			
58			countrys																														255		competitors				

World とは 世界の隅々から 均等に
参加してくることが理想だが、
表は 現実と言うものだ。

アジア、アフリカが減少傾向で
何かの暗示を含めている。

21:34

20時からの閉会式が
終わり、それから
さよなら会が始まる。

“夜討ち朝駆け”とよく言うが、日中レース
そして夜 閉会式、翌 早朝飛行機発のため
3時 宿舎発、というグループも多い。

食べ物はフリーだが、飲み物は有料、
ヌーノの人をもてなしたい気持ちは解り、
大変だったと思う、よくやったよ ヌーノ。

JPN team や アパートの同居人 アレン夫妻も 朝駆け組、“アレン、君はレース委員長、IJ、今回は、レースマネージャー と何でもこなすけど、あと やっていないのは 計測員だけだね”。と言うと 彼は “私の本業は計測員だよ、クロアチアの造船所で 大型帆船の 計測員をしているんだ”。

“一緒に写真撮らせてくれませんか？父の言いつけなので”。タイのコーチから声をかけられた。“来年はタイに行きますよ。楽しみにしているんです”。しばらくして画像をチェックすると右なので 後でフラッシュで撮り直す。2010年の World Champion ナカツパオさんも OPで大きく人生が変わったうちの一人だった。

パーティは挨拶も無く流れ解散、公式行事は全て終わった。

1人 帰路を歩く。

夜朝 遅いヴィラモウラ。



IODA の心臓部は事務局。今年 2 月に事務局長が突然交代した。新しい局長 フィオナさんを教えながらも スーザンさんのやるべき事は満タんだ。

“さぞやお忙しいでしょう”。 “そう明日から 北米で飛び、次はヨーロッパ選手権で イタリアに行くわ。行かない”。 “ そんなに忙しくて寝る暇はないですね”。 “ 床ではなく 飛行機の中で寝る事にしているの”。

22:45

サッカー試合でポルトガルが勝ち進み、連夜の大騒ぎが続いている。



09:33 勝ち組 スイスTeamの撤退

風強し→

7月 / 4日 (月) 皮肉にも
今日は
いい風

DAY + 1

Official Departure day

フライト予約の関係で 出発が5日となった
今回、普通ならば 当然 観光だが、近くに
魅力的な スポットがなく、リスボンまでを

陸路の選択すれば リスボン観光が出来たが、下調べをする
余裕もなく来てしまった。それで今回は1日の休養を 選択
した。最後の テントの食事が 11:00 まで、最初は遠かった
道も 今は 苦ではなく、絶対に変わらない3食のメニューも
心が馴染めば 受入れ可能を知る。選択の余地、それが全て。
テントに着くのと Team SUI が離れるのがとが 同時だった。
会場は“宴のあと”で、テントは人も
まばら、インド少年と
最後の 目線を交わす。

レース

オフィスに
来た目的は、

ピックアップの確認と、ヌーノ へのお礼の あいさつだった。が、
彼は不在、空港までの手配も不明だった。私の滞在中、彼とは業務
上の会話以外は 一度も話をしていない。 今日こそは時間があると思
ったのだが、次の機会に譲ろう。 電話をしてもらい、レストラン
横の テントで一人待っていると、明日の朝 アパートまで タクシー
が迎えに来ると知らせてくれて 確認できた。 会場とおさらばして、

駐車場を抜ける時、
おもしろい搬送方法
を見た。これならば
ラック不用で簡単。
フォークのアームを
伸ばせば荷台の奥ま
で OPを込められる。



ドイツ Team

万感を胸に込めての 引き揚げ。

レース オフィスからの眺め



左 アイルランド、中 オーストラリア Team



2016 World 所感

アパートの 大家さんの 玄関先に
貼られているのがタイル絵。→
アパートは 1Fが レストラン
2Fが個室、3-4F シェアルーム
4 Fが 3個室と バス・トイレ。



私の個室は 2.7× 4.5m 日本風では 7.5 帖。
3 Fは ワンルーム LDK。アレンが出たので
広いスペースは全部私のもの、パンツ 1枚で
くつろぐのが好きだ。そして この地で千枚
以上の撮った写真を 最初からチェックする。
改めて この旅行の始まりから振り返って見た。
5～6月 は 稼業の私の役割が最悪に忙しく。
お蔭で この旅行の何の予備知識を得ず、ただ
NORだけは 熟読した。帰国後、SNS情報を



深く2月まで掘り下げ 大会準備から探る。“冰山の一角”とは 海上に
浮いていて 見える部分よりも はるかに巨大な塊がその下にあり、
浮いている理由がそこにあると言うもの。メディアや SNSは 見える
部分だが、私の理解したいのは 表面から推測する 水面下の部分で、
IODAの機能とは？ 各国協会とは？ 選手達とOPとの結びつきとは？
OPの夢と現実のギャップとは？ と言った事柄だ。それを理解する
には World を見る事が一番いい。一番感じるのは開発された国と
途上国との開き、私が生まれた年に今の中国が誕生し、1950-60
年代に アジア アフリカ (AA) では植民地だった国のほとんどが独立
した。これで搾取が無くなって、自由を得て 今後はどんどん発展す
るだろうとメディアは予測した。しかし それから60年以上経っても
状況が好転していない国が多いのが現実。今、HPでIODA加盟国を
見ると 多くの AA 諸国がOPに賛同し入会している。しかし 中
には 過去には World 参加していたが 今では来なくなった国も多い。
“勝たねば意味はない”の本音と、“参加する事に意義がある”の建前

を両立させることは難しい。“DEVELOPMENT”というジャンルがIODAにはあり、取り組んではいるが、今年は アフリカは3国から7名、アジアは加盟国の多さに比例せず、9国から39名、255選手から見れば 1人/6.5 人の割合だ。今年の白人系以外のエントリー国を見ると、一時は A A諸国が増えたが、今また少なくなっていると感じる。“参加しても負けてばかりでつまらない”なのか。“本音と建前”の争いがいつまでも続く世界の状況で スポーツの世界もまた例外ではない。かつてはスポーツの 夢の部分が多く取りあげられ、OPもまた いかにも OPの世界が 素晴らしいかが 強調されたが、いまは結果や現実のみが受け入れられ夢はともかく 今を冷静に見据える 実効主義の方が より重要視されていると 感じられた。



しかし 結果至上主義でなく、ピーター会長が最後のスピーチで述べた、『この大会の勝利者は優勝のマックスだけではなく、参加した全選手もまた勝利者です』と言ったメンタルなフォローアップも また不可欠な要素で、私も困難な事を何度も乗り越えて挑戦したWorldは 結果いかに関わらず 人生の糧となる事が自分自身に対する勝利だと思う。主催する側の世代交代に連れ少しずつ変わっていく OPの世界、1900年代でOPを学んだ私にとって感じる事は以下の通り。

et cetera, etc, エトセトラ

■ FB オンラインで大会案内（5月頃）

“水の補給は不可欠なものです、プラスチックごみの環境問題と、水節約のため、給水箇所ですぐめ替えをお願いします”。これに対してOPTIMAX社 が動いた。有機物洗浄効果のある詰め替えボトルを発売、非常に受けて大会ではみんな持っていた。私は何も知らず 運営に水も無いのかと いつも レストランでペットボトル水を購入した。

■ 空港 ピックアップ の 料金 （往復 50 €）

昔は ボランティアが グループに分かれて 空港→大会期間中→空港 まで専任支援でついてくれた大会もあった、もちろん送迎は 無料。

■ 観 覧 艇

昔は無料。大き目の船を1隻出した。

今は 一般料金 3,700円/日/人

特別料金 7,400円/日/人

特別と一般との差は 美味しい料理と飲料あり。

小さ目の艇を人数が集まり次第に出していた。

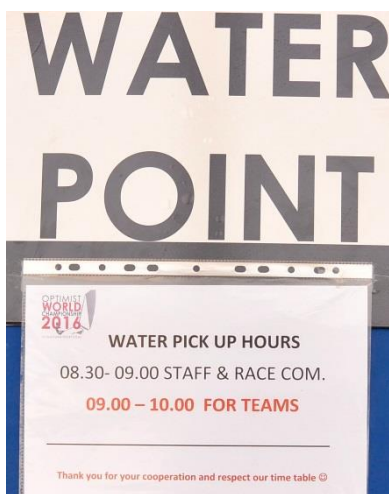
大型船で人数が集まらない時の赤字を避ける為？

■ チャーター艇 レース前計測

ヌーノは 長い計測員経験を持ち、そのWorld経験から、大会に色々和新機軸のアイデアを打ち出した。Team Race を最後にしたのは良かったと思う。FB 案内で “チャーター艇は 大会前に計測するので現地に着いたTeamは すぐ艇に乗れます。ただしセールだけは計測して下さい”。その後の書き込みで、“ヌーノ、これは長い間の夢だった。素晴らしい”。とあったが、この為 コンチェ (IM) は 6月15日から 現地入りした。そして7月3日閉会式後、北米に飛び 大会計測、まる1カ月以上費やした。彼女は教師なので

できる事。トラブルもあったが、信念と実行力は 素晴らしいかった。

by W. Arakawa
2016.7.29



この貼り紙は知っていたが、内容まで理解に至らず。私は水を買っていた。運営役員は時間的に優先されている。

■ 宇田川さん 幽体離脱 説？

私よりも少し早く 現地に着いた JPN Team. 私に会うなり “宇田川さんが来ていますよ”。“エッ そんな筈は…” “いや あれは 絶対に 宇田川さんですよ”。皆 そう言う。たしかに来たがっていたが・・・あり得ない。半信半疑でなかなか探し出せなかったが、後程見つける。確かに後ろ姿は似ていたが、前は別人でした。

